

## 日本原子力学会 第 131 回倫理委員会

### 議事録

1. 日 時：2022 年 5 月 12 日（木）13:20～16:10
2. 場 所：Web 会議
3. 出席者：大場委員長、福家副委員長、神谷幹事、伊藤委員、大家委員、金谷委員、佐藤委員、菅原委員、土田委員、手柴委員、中野委員、中村委員（委員 13 名中 12 名出席）  
池田特別委員、中山特別委員
4. 資 料：
  - 倫 131-1 前回議事録（案）
  - 倫 131-2 （欠番）
  - 倫 131-3 2022 年度倫理委員会委員体制
  - 倫 131-4-1 倫理委員会活動計画
  - 倫 131-4-2 倫理委員会役割分担表
  - 倫 131-5 2022 年春の年会セッションについて
  - 倫 131-6 倫理規程制定 20 周年記念シンポについて
  - 倫 131-7 2022 年秋の大会企画セッション提案書案
  - 倫 131-8 安全文化と安全管理～階層モデルの比較によるメモ
  - 倫 131-9 東京電力 HD(株)核物質防護設備の機能の一部喪失事案を踏まえてあらためて倫理的な行動について考える（見解）
5. 議事概要：
  - (1) 前回議事録について  
神谷幹事から資料 131-1 に基づき説明があり、異議なく了承された。
  - (2) 2022 年度倫理委員会体制について  
神谷幹事から資料 131-3 に基づき説明があり、今年度の体制について了承された。
  - (3) ミニ講演会  
土田委員から、学会誌 2022 年 4 月号への寄稿「将来世代に対する倫理」に基づき、講演いただいた。講演の中で、将来世代に対して果たすべき責任として、現世代が知り得たこと、判断したこと等を確実に伝えていくことの重要性等について指摘があり、次回倫理規程改定に向けた考慮事項の一つとして検討していくこととした。
  - (4) 活動計画および役割分担について  
福家副委員長から資料 131-4-1、131-4-2 に基づき説明があり、議論を行った。主な確認事項等は以下のとおり。  
＜活動計画＞
    - ・20 周年企画の学会誌連載企画の最新状況を追記した。  
＜役割分担＞

- ・2023年春の年会以降の列も追加する。

#### (5) 2022年春の年会企画セッションについて

手柴委員から資料 131-5 に基づき、春の年会企画セッションの結果概要について説明があった。主な議論は以下のとおり。

- ・今回の講演や総合討論の内容を踏まえて、次回倫理規程改定に向けた考慮事項に含めて検討していく。
- ・HPに掲載する結果概要について、札野先生との調整も含めて進めていく。その際には、チャットでいただいたご意見への対応も検討する。
- ・もう少し総合討論の時間をとれるとよかった。また、総合討論の活性化のためには、委員会委員の積極的参画が必要ではないか。
- ・終了直前にチャットの意見が寄せられたので、投稿の時間を決めるなどの工夫も必要ではないか。

#### (6) 2022年秋の大会企画セッションについて

神谷幹事から資料 131-7 に基づき、秋の大会企画セッション提案書案について説明があった。主な議論は以下のとおりで、可能な修正を行い、提出期限の 5/16 に学会事務局に提出することとした。

- ・立地自治体からの講演者については引き続き検討するが、議会日程との兼ね合い等もあるので、総合討論での積極的参画者というかたちでのお願いも検討する。
- ・セッションタイトルは、もう少しアピールできるようなアイデアはないか。

#### (7) 20周年シンポジウムについて

福家副委員長から資料 131-6 に基づき説明があった。主な議論は以下のとおり。

- ・パネルディスカッションの論点2については、“信頼を失う行動”についても議論したい。
- ・パネルディスカッションへの YGN を含む若手、女性の登壇者について引き続き検討する。
- ・土日の開催を予定しているので、午前中の時間帯とした方が多くの参加者を得られるのではないか。
- ・土日は学会事務局会議室は使用できないので、オンライン開催の運営センターとなる場所を別途確保することが必要。

#### (8) 研究機関の安全文化について

伊藤委員から資料 131-8 に基づき、安全文化と安全管理の観点でこれまで検討してきた状況について説明があった。これまでの検討を踏まえ、研究機関の安全文化という本題に戻って、引き続き検討を進めていくこととした。また、検討状況について学会誌に投稿してもよいのではないかと意見があった。

### 6. 次回：7月上旬の開催として、別途調整することとした。

以上